（様式第１－５号）

　市町村名：　寝屋川市

⑨その他の創意工夫による取組み

|  |  |
| --- | --- |
| 区分及び事業名  ※１から４のいずれか該当するもの一つに○を付し、（　　　）に事業名を記入してください。  ※１から４の複数の区分に該当するものについては、それぞれ用紙を分けて記入してください。 | １　人権相談分野（事業名：　　　　　　　　　）  ２　地域就労支援分野（事業名：大阪労働局との雇用対策協定に基づく「ハローワーク枚方　職業紹介コーナー」）  ３　進路選択支援分野（事業名：　　　　　　　）  ４　生活上のさまざまな課題等の発見又は対応分野  （事業名：　　　　　　　　　　　　　　　） |
| 取組内容  ※府ホームページへは当様式に記載されている内容を原則そのまま掲載いたします。また、記載にあたりましては現状、現状における課題及び当該課題解決へ向けた取組み内容をできるだけ詳細に記入してください。  【新規・継続の別】　※該当する方に○を付してください。  　 １．新規  　２．継続 【交付対象となった年度：平成30年度】  【 現 状 】  　働く意欲がありながら、引きこもりなど就労を妨げる様々な要因を抱える就職困難者等を対象に、就労支援コーディネーターによる就労相談（地域就労支援事業）を実施し、必要に応じて隣接する職業紹介コーナーへ誘導している。  【現状における課題】  　職業紹介コーナーでは一部機能（雇用保険・求人受理・職業訓練業務）の取り扱いがなく、他市にあるハローワークへ誘導する必要がある。市民からはすべての業務が取り扱えるようにしてほしいとの意見もいただいている。  【取組み内容】 ※継続実施分について、取組み内容を拡充する場合は、その内容を追記してください。  ・平成28年度に締結した「寝屋川市と大阪労働局が雇用施策を一体的に実施するための協定」に基づき、国（大阪労働局）が職業紹介・職業相談機能を持つハローワーク窓口を、寝屋川市駅南口にある市の出先機関「ねやがわシティ・ステーション」内に新設。  ・同時に、市立産業振興センターで実施していた地域就労支援事業を同施設内に移設。  ・国と市の雇用対策を一体的に実施することにより、就労相談から職業紹介・求人情報の検索までの支援ができるようになった。また、利便性が良い同一施設内での対応が可能となり、市民サービスの向上につながった。 | |

（様式第１－５号）

　市町村名：　寝屋川市

⑨その他の創意工夫による取組み

|  |  |
| --- | --- |
| 区分及び事業名  ※１から４のいずれか該当するもの一つに○を付し、（　　　）に事業名を記入してください。  ※１から４の複数の区分に該当するものについては、それぞれ用紙を分けて記入してください。 | １　人権相談分野（事業名：　　　　　　　　　）  ２　地域就労支援分野（事業名：大阪労働局との雇用対策協定に基づく「出張マザーズコーナー」）  ３　進路選択支援分野（事業名：　　　　　　　）  ４　生活上のさまざまな課題等の発見又は対応分野  （事業名：　　　　　　　　　　　　　　　） |
| 取組内容  【新規・継続の別】　※該当する方に○を付してください。  　 １．新規  　２．継続 【交付対象となった年度：平成30年度】  【 現 状 】  ・子育て中の方の就職活動を支援する専門窓口がなかったが、平成28年度に締結した「寝屋川市と大阪労働局との雇用対策協定」に基づき、平成29年９月、ハローワーク枚方の専門スタッフによる「出張マザーズコーナー」を開設。  ・年間事業計画により、開催場所の提供・市民への周知・予約の受付を市が担い、現在は毎月第２・第４金曜日に市立子育てリフレッシュ館（RELATTO）で開催している。  ・求人情報の検索や応募を希望する会社への紹介、履歴書添削、模擬面接等を行っている。  【現状における課題】  ・コロナ禍で落ち込んだ利用者数の回復  ・子育て世代への周知及び利用者数の増加  【取組み内容】 ※継続実施分について、取組み内容を拡充する場合は、その内容を追記してください。  ・「寝屋川市と大阪労働局との雇用対策協定」に基づき、平成29年９月「出張マザーズコーナー」  を開設。子育て中の方の利便性向上を図るため、相談スペースとして、ベビーカーのまま入室が可能な完全個室を用意し、その一角にはプレイマット敷きで玩具があるキッズスペースを設けるなど、子ども同伴でも安心して利用できるよう配慮した環境を整えた。  ・市立産業振興センターで開設していた「出張マザーズコーナー」を、平成30年７月にオープンの市立子育てリフレッシュ館（RELATTO）へ移設。同館は、子育て総合支援拠点として整備されており、子育て世代包括支援センターや子育て中の親子が交流できるスペース等もあることから、子育て中の方の多様な相談に対応することができる施設である。相談スペースの環境はそのまま維持し、子育て世代が利用する施設で開催することにより、更なる周知及び利用者数の増加、利便性の向上を図った。 | |

（様式第１－５号）

　市町村名：　寝屋川市

⑨その他の創意工夫による取組み

|  |  |
| --- | --- |
| 区分及び事業名  ※１から４のいずれか該当するもの一つに○を付し、（　　　）に事業名を記入してください。  ※１から４の複数の区分に該当するものについては、それぞれ用紙を分けて記入してください。 | １　人権相談分野（事業名：　　　　　　　　　）  ２　地域就労支援分野（事業名：子育て世代の仕事探し応援事業）  ３　進路選択支援分野（事業名：　　　　　　　）  ４　生活上のさまざまな課題等の発見又は対応分野  （事業名：　　　　　　　　　　　　　　　） |
| 取組内容  ※府ホームページへは当様式に記載されている内容を原則そのまま掲載いたします。また、記載にあたりましては現状、現状における課題及び当該課題解決へ向けた取組み内容をできるだけ詳細に記入してください。  【新規・継続の別】　※該当する方に○を付してください。  　 １．新規  　２．継続 【交付対象となった年度：令和３年度】  【 現 状 】  平成29年９月から月２回の出張マザーズコーナーを開設しているが、子育て中の方の潜在的な就労ニーズや市内企業の労働力の確保に資する効率的かつ効果的なマッチングを図る必要がある。  【現状における課題】  ・子育て世代と市内企業とのマッチングの機会の確保及び子育て世代への周知  ・子育てとの両立支援ができる企業の開拓  【取組み内容】 ※継続実施分について、取組み内容を拡充する場合は、その内容を追記してください。  ・ハローワーク枚方・枚方雇用開発協会との連携により、セミナーや相談会、企業との就職面接会を同日開催し、就労意欲のある子育て世代が段階に応じた情報を取得できる環境を整備し、就労支援を実施した。（令和５年度は９月と２月に実施）  ・事業のポスター及びチラシを作成し、市内の幼稚園・保育所園や関係機関への配架やTwitterなどのＳＮＳを通じて子育て世代への周知を図った。 | |